

北白石まちネット

北白石地区安全・安心のまちづくりネットワーク会議 広報誌

-第6号-

平成24年4月1日発行

編集企画 北白石まちネット広報ワーキング(北白石まちづくりセンター内 TEL874-0293)

北白石地区安全・安心のまち防犯決起大会

北白石地区安全・安心のまちづくりネットワーク会議による防犯決起大会が平成23年8月29日(月)に北郷3条3丁目の大豊湯駐車場で開かれ各町内会や各種団体の約150人が参加しました。

これは、地域を挙げて不審者から子ども達を守る防犯活動を行うことで不審者が立ち入りにくいまちにしようということで、毎年実施しているものです。この日は、まず北白石まちネットの山田会長が「これまでの活動を継続して子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちをつくりましょう」とあいさつ。

続いて川北小学校 PTA 副会長が「北白石地区を地域住民の協力により不審者や犯罪者が立ち入れないまちにします」と力強く大会宣言を行いました。参加者たちは、今後の活動に向けて意識を向上させていました。

大会終了後は、地区内の防犯活動を行っている青色パトロール隊員たちが、回転灯を装着した車両9台で白石警察署のパトカーとともに、地区内の小学校、中学校付近のパトロールを開始。併せて、防犯ホイッスルと「防犯パトロール実施中」と書かれたのぼり旗を各学校に贈呈しました。

旗を受け取った児童生徒たちは「いつも見守ってくれてありがとうございます。これからもよろしくお願いします」とお礼を述べ、パトロールに出発する隊員らに「気をつけてね」「ありがとう」などと言いながら笑顔で手を振っていました。



防犯ホイッスル・のぼり旗の贈呈のようす。左から北白石小・北白石中、川北小、北郷小。

【北白石連合町内会青色パトロール隊 隊長 田畑 勝】

白石警察署刑事・生活安全課の小川さんからコメントをいただきました。



防犯決起大会であいさつをする小川さん

青パト隊が全国でパトロールをするようになって5年ほど経過します。青パト隊は住民の自主防犯パトロールの中心を担い、象徴的な存在となっています。北白石連合町内会でもたくさんの方に従事してもらっているおかげで、不審者出没事案などは確実に減少しており、その効果は非常に大きいことが証明されています。これからも青パト隊の活躍をとっても期待しています。

「北白石ボランティア講座」開催

平成24年3月19日(月)「聴覚に障がいがある方に対する接遇と手話体験」をテーマに、札幌市社会福祉協議会のご協力をいただきボランティア講座を開催いたしました。

現在、北白石地区町内会の皆様には、要援護者支援活動に積極的に取り組んでいただいているところでありますが、今回は聴覚障がいの方々とのふれあいや思いの理解を少しでも出来るようになればと思い開催いたしました。



実際に手話をやってみる参加者たち。

聴覚障がいの皆様のご苦勞等のお話しを聞き、各町内会や団体の皆様37名の参加者全員が貴重な勉強をいたしました。この手話講座につきましては、今後も継続して開催したいと思っておりますので引き続きのご参加をお願いいたします。当日の講座の最後に、習ったばかりの手話で講師の中川先生に全員で「ありがとう」をお伝えし終了いたしました。ご参加いただいた皆様大変ありがとうございました。

【北白石まちネット事務局長 田畑 隆二】



講師の中川さんの手話による講演でした。

講師に、公益社団法人札幌聴覚障害者協会の中川信一氏・手話通訳に天野ゆりか氏をお迎えし、思いの伝え方や手話の基本から楽しく学ぶことが出来、また、日常や災害時での

地域の皆さんに暖かいご支援を頂いて

日赤奉仕団北白石分団 副分団長 木口 知子

日を追うにつれて拡大する凄惨な被害甚大さに、ただただ啞然とし時の流れが止まったような錯覚に陥った東日本大震災から、私たち日赤奉仕団北白石分団有志一同は、ボランティア活動に強い意気を感じました。

数回に及ぶ立会募金活動、町内会を初め各組織、諸団体及びグループ全般に接して、義援金等の支援に対し献身的な応援をいただき、その暖かい皆様方の気持ちに心豊かさを感じ、感謝に充ちた日々でした。

死亡、行方不明合わせて2万人に近いこの大災害に、福島第一原発事故が重なり、35万人に達した避難生活者の数。まさに「未曾有」。言葉としては、それとなく聞き慣れた熟語ですが、その意味の再確認に駆られ無意識のうちに辞書を手にしていた私でした。

事情は異なりますが、私も身内を亡くした経験からして、被災者の方々の心情に思いを馳せる時、筆舌には尽くせない気持ちにかられます。今後も今までに増して前向きな明日

へと力強く前進されますよう。

北白石地域の北郷瑞穂町内会、瑞穂むつみ会、北郷親栄町内会連絡協議会、北白石体育振興会、北郷瑞穂夏祭実行委員会、北郷瑞穂祭典協賛会、絵手紙圭友会など多くの皆様のご支援誠にありがとうございました。

これからも日赤奉仕団北白石分団は、明るい未来のまちづくりに努力を重ねて参ります。

今後とも暖かいご支援ご指導をお願い申し上げます。「人間を救うのは人間だ」



北郷親栄町内会連絡協議会からの義援金を預かりました。

北白石まちネットフォトギャラリーII

北白石地区では、いろいろな団体がさまざまな活動を行っています。その一部を紹介します。



北白石連合町内会

今年1月22日北郷小グラウンドにて「第16回北白石雪フェスティバル」を開催しました。



北白石地区福まち推進センター

毎年2月に一人暮らしのお年寄りを対象にして「新春ふれあいの集い」を開催しています。



北白石地区民児協

北白石地区センターで行われた「三世代交流～クリスマスの集い」に協力しています。



北郷小学校 PTA

防犯パトロール「キッズガード」隊を編成し、子どもたちの安全を守っています。



川北小学校 PTA

毎年 PTA 会員の企画、運営による「ふれあい祭り」を実施しています。24回を数えました。



北白石中学校PTA

中学校の学校祭での「友愛セール」の様子です。大変好評でした。



北白石体育振興会連絡協議会

北白石地区センターで行われた「介護予防フェア」では運動コーナーを担当し協力しました。



老人クラブ北郷長寿会

北郷長寿会では、社会奉仕の一環として柗花壇の草取りを行っています。



北白石地区センター

平成 23 年の介護予防フェアでは「お口の健康」をテーマに歯科医師の講演がありました。

こんにちは北白石まちづくりセンターです(3)

写真でみるまちづくりセンター



古い平屋の建物です。



パンフレットコーナーがあります。



奥には会議室があります。

青少年育成委員会は、地域において子どもたちの健全な育成に関する実践活動を推進するため連合町内会単位に組織されています。北白石地区では、28名（北郷東、北郷親栄、北郷瑞穂、北郷団地、北郷北部の各町内会から推薦）が市長から選任を受け青少年育成委員会委員として、地域においてスポーツ・文化事業や子どもにとって有害な環境を排除するための事業などさまざまな事業に参加しています。

当育成委員会では、「公園で遊ぶ機会が少なくなった子どもたちに屋外で良い汗をかいてもらうこと」、「自然の中で歩く楽しさや感動を体験してもらいたい」と、平成12年から年に1回自主事業として「てくてくウォーク」を実施しております。地域の小学校（北郷、北白石、川北）の子どもたちに参加を呼びかけ、5～6年生がリーダーとなってグループをつくり、団体行動を経験します。近郊の公園や施設へ出かけクイズやゲームを楽しみながら自然の中で新しい体験をしたり、その地域の歴史などを学びます。動物とのふれあいや、炊事体験、冒険



体験などを通し経験を積み重ねることもできます。また、グループ活動が主体ですから他の学校や違う学年の子どもたちと協力し合うことや、他人への思いやりの心などを身につけることもできます。

平成23年度は「ハイジ牧場」へ59名の子どもたちと行ってきました。動物や自然とのふれあい、動物へのえさやり、こやぎへの哺乳体験、尻揚げ体験、芋ほり体験、スタンブラリーと多くの体験ができました。子どもたちからの感想や「来年も参加したい」との期待の声が多く寄せられていたことも私たち育成委員の励みとなっています。これからも、学校、地域、町内会、各種団体の活動に積極的に参加させていただき子どもたちの成長を見守り続けていきたいと思っておりますので今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



「北白石地区安全・安心のまちづくりネットワーク会議」 構成団体

北白石連合町内会 北郷親栄町内会連絡協議会（北郷親栄第一～七町内会）北郷東町内会
 北郷瑞穂町内会 北郷北部町内会 北郷団地自治会 北白石地区民生委員児童委員協議会
 北白石地区社会福祉協議会 北白石地区福祉のまち推進センター 北白石地区交通安全実践会
 北白石地区交通安全母の会 白石消防団北白石分団 札幌市赤十字奉仕団北白石分団
 北白石地区青少年育成委員会 北白石体育振興会連絡協議会 北郷小学校 北白石小学校
 川北小学校 菊水小学校 北白石中学校 北郷小学校 PTA 北白石小学校 PTA
 北白石中学校 PTA 北郷明友会 北郷長寿会 瑞穂むつみ会 ゆうゆうクラブ
 北白石地区センター運営委員会 白石警察署少年補導員北白石支部